

会議概要

件 名	第 2 回鹿児島市住生活基本計画策定委員会
日 時	令和 5 年 2 月 7 日（火） 1 0 時 0 0 分～1 2 時 0 0 分
場 所	本館 2 階講堂
出 席 者	鹿児島市住生活基本計画策定委員会委員 1 8 名
市出席者	事務局： 住宅課長ほか
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 1 回委員会 意見と対応等 (2) 市民意識調査の結果について (3) 事業者ヒアリングの結果について (4) 計画の骨子案について (5) 現状、課題及び施策展開 (6) 具体的な施策検討事項（案） 3. その他 4. 閉会
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住生活に関する取り組みで、重要性が高い結果となっている耐震改修の備えに、マンションも含まれると考える。マンションの課題を計画に取り上げていただきたい。 ・ 公営住宅の応募者数が減少した背景について、賃貸市場関連の事業者が事情を分からないだろうか。背景を精査することで、公営住宅の今後の管理方針の検討に繋がり、それに応じた民間住宅の在り方にも影響すると思う。 ・ 「ひと」「住宅」「まち」の 3 つの視点のうち、「住宅」を「すまい」としてはどうか。 ・ 基本目標 1 に居住支援の取り組みが入っていることは高く評価したい。 ・ 基本目標 2 の基本施策 1 に「マンション管理の適正化の推進を図る」といった文言を追加しても良いのではないか。 ・ 災害危険性の高い場所での立地抑制、移転の促進は防災では非常に重要だが、対応した施策が記載されていない。具体的な事業を記載してほしい。 ・ 鹿児島市の居住支援協議会の設立を目指すことを明記してほしい。鹿児島市では地域包括支援ネットワークがあるため、社会福祉協議会と協力しながら、設立に取り組んでほしい。 ・ シェルター機能が含まれていない。シェルター機能は、今日泊まる場所がない方への居住支援の根本であり、一時生活支援事業が実施されていないことから、公的なシェルター機能を置いてほしい。 ・ 市営住宅の建替えによる省エネ化の推進とあるが、民間事業を圧迫してはしょうがない。極論かもしれないが、市営住宅を民営化し、家賃補助で費用面の支援をする方法も、素人ながら、考えられるのではと思った。 ・ 市営住宅の建替えによる省エネ化の推進で今後、多くの市営住宅が建替えされると思うが、ゼロカーボンシティ鹿児島を推進する環境局と連携して施策を検討してほしい。 ・ 住宅リフォームへの支援が複数記載されているが、それぞれの違いが分かるように記載すべきと思う。